

REPORT:

西日本委員会

<デザインの原点を訪ねる>ORIGIN vol.3

「佐川美術館・樂吉左衛門・茶室見学会」

[担当理事] 井上 聡／奥田一明／藤田 隆／森 孝幹

[担当委員] 三原美奈子(委員長)／金谷知佳／秦 智子／横川三希子

開催日時	平成22年11月6日（土）11:00～16:00
開催場所	シェハラザード<ヤンマーリゾート> 樂吉左衛門・茶室<佐川美術館>
出席者数	23名

秋晴れの日、陶芸家・樂吉左衛門氏が設計創案・監修された茶室を見学するために、琵琶湖大橋のたもと、湖の東岸にある佐川美術館を訪ねました。

美術館の水庭に浮かぶように建てられた茶室は「守破離(しゅはり)」をコンセプトに石材・木材・和紙など希少な天然素材がふんだんに使われ、伝統と前衛とが一体となった空間には、四季の景観、音と光がたくみに取り入れられていました。

見学は、10人一組で係員から丁寧な説明を受けながら案内されます。完成まで、時間もモノも贅沢に費やされた茶室は、見る者の感性を大いに刺激したことと思います。

佐川美術館には他にも常設で、平山郁夫氏と佐藤忠良氏の作品も多数展示されており、案内待ちの時間も飽きることはありません。

開催日当日は土曜日で昼食会からスタートし、普段お会いできない中日本地区の会員も2名参加され、交流を深めることが出来ました。大阪から距離もあることから、参加は23名と少なめでしたが、参加者からは充実した一日だったという感想も聞かれました。

